

〈2025年9月～2026年3月実施〉

変額保険販売資格試験

試験問題【フォームB】

● 注意事項

1. 試験時間は40分です。
2. 試験問題は、全部で40問あります。《100点満点》
問題1から8は、正しいものを1つ選ぶ問題《各2.5点：20点満点》
問題9から16は、誤っているものを1つ選ぶ問題《各2.5点：20点満点》
問題17から20は、文中に入る最も適切なものを1つ選ぶ問題《各2.5点：10点満点》
問題21から30は、語群の中から最も適切なもの（数値・語句）を選ぶ問題《各3点：30点満点》
問題31から40は、正誤を選ぶ問題《各2点：20点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

- ・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任を負わないものとします。

一般社団法人 生命保険協会

[1] 金融の自由化

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 国債の大量発行や金融の国際化により、公社債市場や海外市場といった「規制金利市場」が拡大しました。

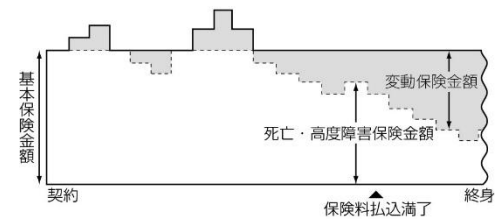
イ. 金利の自由化により、資金はより高い金利を求めて、「自由金利市場」から「規制金利市場」へ流れるという傾向が強くなりました。

ウ. 金融の自由化により、銀行・証券・信託・生保・損保などの各業態がお互いの業務に乗り入れる傾向が拡大しました。

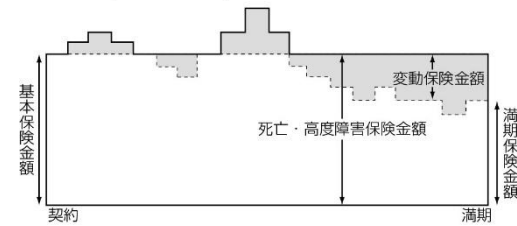
[2] 変額保険の保険金額変動の仕組み

次の仕組図のうち、正しいものを1つ選んでください。

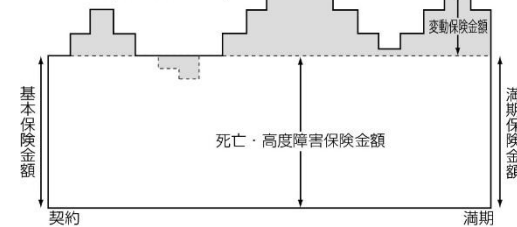
ア. (終身型)



イ. (有期型)



ウ. (有期型)



〔 3 〕 保険料の仕組み

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 変額保険の保険料は、その保険にかかわる資産の運用実績に基づいて変動することがあります。

イ. 変額保険に定期保険特約および災害・疾病関係特約などを付加する場合の特約保険料は、特別勘定で運用されます。

ウ. 変額保険では、付加保険料のように経費として使用される部分などは、一般勘定で管理されます。

〔 4 〕 変額個人年金保険の商品内容

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 変額個人年金保険の積立金を運用する特別勘定については、運用対象の異なる複数の特別勘定の中から契約者が選択することになっており、特別勘定が1つだけのタイプはありません。

イ. 変額個人年金保険の年金支払開始後も引き続き、積立金を特別勘定で運用するタイプの場合、毎年受け取る年金額は「基本年金額±変動年金額」となります。

ウ. 変額個人年金保険の「スイッチング」は、回数にかかわらず手数料がかかるのが一般的です。

[5] 自動延長（定期）保険

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 自動延長（定期）保険の保険金額は、保険料払込猶予期間満了時の死亡・高度障害保険金額とし、延長期間は、猶予期間満了時の「既払込保険料総額」によって計算します。

イ. 自動延長（定期）保険に変更後3カ月以内かつ自動延長（定期）保険の保険期間内に未払込保険料および生命保険会社所定の延滞利息の払い込みが行われた場合には、元の保険契約が有効に継続していたものとして取り扱います。

ウ. 各種特約が付いた変額保険の場合、その特約部分は自動延長（定期）保険への変更後も継続されます。

[6] 契約者貸付

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 変額保険の契約者貸付は、生命保険会社ごとに既払込保険料総額の所定の範囲内で限度額が決められています。

イ. 変額保険では、契約者貸付を行った場合、貸付金と同額の積立金については、貸付金とその利息が返済されるまでの間、特別勘定資産の運用実績にもとづく計算を行うのではなく、別途生命保険会社所定の利率により運用されます。

ウ. 変額保険では、契約者貸付を受けた場合も受けなかった場合も、原則として支払われる死亡保険金の金額は同じです。

〔 7 〕 払済保険への変更

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 変額保険から払済保険への変更は、変更請求書類を生命保険会社が受け付けた日の前営業日の解約返戻金を使って取り扱いを行います。

イ. 変額保険から払済保険に変更した場合の効力は、変更請求書類を生命保険会社が受け付けた日から生じます。

ウ. 払済保険への変更後、所定の期間内であれば、変額保険に復旧（復帰・復元）する取り扱いができます。

〔 8 〕 販売資格と販売資格者の役割

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 変額保険の販売に携わる人には、定額保険の募集に必要な知識に加えて、変額保険の特徴や仕組みはもとより、金融面や現在の経済情勢などについてもより深い知識が必要となります。

イ. 変額保険および変額個人年金保険の販売資格を得るためには、一定の要件を満たす生命保険募集人が「変額保険販売資格試験」に合格し、法務省に登録されることが必要です。

ウ. 変額保険では、短期的なハイリターンを追求する資産運用を原則としており、お客さまに運用実績については短期的に判断していただくことが重要です。

<ここからは、誤っているものを1つ選ぶ問題です。>

[9] 変額保険と定額保険の資産運用

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 「変額保険」は、株価の下落や為替の変動などにより、満期保険金額が基本保険金額（あるいは既払込保険料）を下回る等の損失を被ることもあります。

イ. 「定額保険」は、一定額の給付を保証するため、資産運用に際しては高利回りを追求しており、投機性が重視されています。

ウ. 「定額保険」は、運用実績が予定利率を下回った場合でも、給付は保証されています。

[10] 保険料の仕組みと保険金の変動の仕組み

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 変額保険の保険料は定額保険（ステップ払込方式を除く）と同様に定額であり、予定死亡率、予定利率および予定事業費率の3つの予定率を基礎として計算されています。

イ. 変額保険の変動保険金額は、契約ごとに毎月末時点で計算した積立金と、基本保険金額にもとづく予定責任準備金との差額（超過資産）によって計算されています。

ウ. 変額保険の定期保険特約および災害・疾病関係特約などにもとづいて支払われる保険金や給付金の金額は、特別勘定資産の運用実績により変動することがあります。

[11] 特別条件付契約の取り扱い

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 生命保険会社は、被保険者の健康状態によっては他の契約者との公平性を保つために、「保険料の割増」や「保険金の削減」などの特別な条件を付けて契約を引き受ける場合があります。

イ. 変額保険の特別条件が「保険金の削減」のとき、削減期間中、契約日からの経過年数に応じて基本保険金額の所定割合を削減します。

ウ. 変額保険の特別条件が「保険金の削減」のとき、基本保険金額と同じ割合で変動保険金額を削減します。

[12] 失効・復活

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 復活をする場合、定額保険では、通常失効後3年が手続きの期限ですが、変額保険については失効後1年となっています。

イ. 変額保険の復活時の死亡・高度障害保険金額は、失効期間中も保険料が払い込まれたものとして計算した基本保険金額と変動保険金額の合計金額としますが、復活時の変動保険金額がマイナスの場合には、基本保険金額が復活時の死亡・高度障害保険金額となります。

ウ. 変額保険の復活をする場合、告知書を提出し、生命保険会社の承諾を得るとともに、延滞保険料と生命保険会社所定の延滞利息を払い込むなどの手続きが必要です。

[13] 変額保険の保険金と税

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝妻、死亡保険金受取人＝夫」の契約で、夫が死亡保険金（一時金）を受け取った場合は、相続税（保険金非課税の取り扱い無し）の課税対象となります。

イ. 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝夫、死亡保険金受取人＝相続人」の契約で、相続人が死亡保険金（一時金）を受け取った場合は、相続税（保険金非課税の取り扱い有り）の課税対象となります。

ウ. 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝妻、死亡保険金受取人＝子」の契約で、子が死亡保険金（一時金）を受け取った場合は、贈与税の課税対象となります。

[14] 募集上の禁止・留意事項

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 将来の運用成果や配当金・保険金の支払いなどについて、確実であるかのような断定的判断を示したり、確実であると誤解されるおそれのある表示・説明を行ったりする行為は、法律で禁止されています。

イ. 被保険者（または契約者）が生命保険会社に告知を行うにあたって、虚偽のことを告げるようにすすめる行為は、法律で禁止されています。

ウ. 変額保険は、定額保険とは異なり、資産運用のリスクを契約者が負いますので、保険料の割引・割戻などは、「特別の利益の提供」には該当しません。

[15] 消費者契約法・金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律（金融サービス提供法）

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 消費者契約法により、お客さまが締結した契約を取り消すことができるのは、お客さまが誤認に気がついたときや困惑の状況から解放されたときなどから原則1年以内で、契約締結時から原則5年以内となります。

イ. 金融サービス提供法では、金融商品販売業者は、金融商品を販売するための勧誘方針を策定しなければならないと定めていますが、公表までは義務付けていません。

ウ. 金融サービス提供法では、金融商品販売にあたってそのリスク（市場リスク・信用リスク）に関する重要な事項の説明を怠ったことによりお客さまが損害を被った場合には、金融商品販売業者が損害賠償責任を負うことを定めています。

[16] 犯罪による収益の移転防止に関する法律（犯罪収益移転防止法）

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 保険会社等の特定事業者は、200万円を超える大口現金取引時等の場合、「犯罪収益移転防止法」による取引時確認が必要です。

イ. 「犯罪収益移転防止法」では、お客さまが過去に保険会社による取引時確認を受けたことがある場合、次回以降の取引では、保険証券やパスワード等により取引時確認済みであることが確認できれば、原則として再度の取引時確認は不要です。

ウ. 「犯罪収益移転防止法」では、お客さまが法人の場合、法人の取引時確認が必要ですが、実際に手続きをする担当者の取引時確認は必要ありません。

<ここからは、文中に入る最も適切なものを選ぶ問題です。>

[17] 契約日

文中の空欄 [] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

変額保険の契約日は、[] です。

語群

ア. 責任開始期の属する月の1日

イ. 責任開始期の属する月の翌月1日

ウ. 責任開始期の属する月の翌々月1日

[18] 保険料払込猶予期間

文中の空欄 [] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

契約応当日が10月1日である変額保険（月払契約）の保険料払込猶予期間（払込期月が10月の場合）は、[] までです。

語群

ア. 10月1日から11月末日

イ. 11月1日から11月末日

ウ. 11月1日から12月末日

[19] 特別勘定資産における有価証券以外の資産の評価方法

文中の空欄 [] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

特別勘定資産の評価の方法は、有価証券以外の資産（預貯金など）については原則として [] により行います。

語群

ア. 時価評価

イ. 低価法

ウ. 原価法

[20] 金融商品取引法

文中の空欄 [] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

変額保険、変額個人年金保険は、保険業法上の「[] 契約」にあたり「金融商品取引法」の一部が準用されます。

語群

ア. 特定保険

イ. 長期継続

ウ. 消費者

<ここからは、文中に入る最も適切なものを選ぶ問題です。>

【剰余金と配当金】

文中の空欄【21】～【25】に入る最も適切なものを選んでください。

定額保険の場合、剰余金の利源は、死差益、利差益、費差益のいわゆる「剰余金の3利源」の3つに分類されます。一方、変額保険の場合、定額保険の【21】に相当する部分は、変動保険金額の増減に反映されますので、剰余金の利源は【22】に限られます。

配当金のあるタイプの変額保険の場合、剰余金は毎年度末の決算日に、契約してから【23】を超えている契約に対し、その所定割合が配当金として割り当てられます。配当額は毎年の決算に応じて変動（増減）し、決算実績によっては0（ゼロ）となる年度もあります。

配当金は、契約後3年目以降の毎契約応当日から【24】の末まで生命保険会社所定の利率により運用したうえで積立金に充当し、その翌月の変動保険金額の計算に繰り入れられます。なお、配当金を引き出すことは【25】。

語群

ア. 1年

イ. 2年

ウ. 死差益

エ. 利差益

オ. 第6月目

カ. 利差益、費差益

キ. 死差益、費差益

ク. いつでもできます

ケ. 第7月目

コ. できません

【変額個人年金保険の特徴と仕組み】

文中の空欄 [26] ～ [30] に入る最も適切なものを選んでください。

変額個人年金保険は、国内外の株式や [26] などの有価証券を中心に運用する資産運用目的の性格が強い保険で、年金額が運用次第で大きく増える可能性がある一方で、年金支払総額が払込保険料総額を割り込むリスクもあります。

変額個人年金保険は、[27] に似ているといわれますが、変額個人年金保険には、生命保険料控除や運用収益の [28]、死亡給付金の相続税の非課税枠などの [27] にはない特徴があります。

変額個人年金保険の積立金は、通常、契約後から年金支払開始までの期間中、契約者が選択した特別勘定の運用実績にもとづき変動し、最終的には年金支払開始日の [29] の積立金（年金原資）によって、年金開始時点に年金額が確定します。

年金支払開始前に被保険者が死亡した場合は、死亡日の積立金額や払込保険料総額などにより算出された死亡給付金が支払われます。

解約した場合の解約返戻金は特別勘定の運用実績により計算され、一般に最低保証 [30]。

語群

ア. 変額保険

イ. 投資信託

ウ. 前月 1 日

エ. があります

オ. はありません

カ. 課税繰り延べ

キ. 非課税扱い

ク. 債券

ケ. 預貯金

コ. 前日

<ここからは、正誤を選ぶ問題です。>

[31] 変額保険の発売時期

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

金融の自由化やお客さまのニーズの多様化などを背景として変額保険に対するニーズが高まり、1986年（昭和61年）に変額保険と変額個人年金保険が同時に発売されました。

[32] 解約返戻金

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の解約返戻金の額は、契約年齢、保険期間、経過年数、運用実績などにより異なりますが、一般に最低保証額が設定されています。

[33] クーリング・オフ

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険は、定額保険と同様に、クーリング・オフを取り扱います。

[34] 変額保険から定額保険への変更

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険から定額保険への変更は、所定の条件で認められ、変更後は、契約当初から基本保険金額と同額の定額保険に加入していたものとして取り扱います。

[35] 減額

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の基本保険金額を一度減額しても、再び元の保険金額に復旧（復帰・復元）することができます。

正

誤

[36] 保険料の払込方法（回数）の変更

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の保険料払込方法（回数）については、一般に月払、半年払、年払相互間の変更を取り扱います。

正

誤

[37] 保険期間・保険料払込期間の変更

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険では、保険期間・保険料払込期間の変更を取り扱いません。

正

誤

[38] 変額個人年金保険への課税

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

個人が変額個人年金保険によって年金を受け取った場合は、定額個人年金保険と同じ種類の課税が行われます。

正

誤

[39] 個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「個人情報保護法」により、「個人情報取扱事業者」に課せられた義務は、「個人情報の取得・利用時の義務」に限定されています。

正

誤

[40] 保険法

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険法では、告知義務に関して、告知する事項を契約者等が判断して告知する義務（自発的申告義務）と規定されています。

正

誤

